

事務事業名		美術品・資料購入事業			会計	一般会計					
課等名		美術博物館			事業種別	政策		開始	24	終了	24
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり							
		施策	61	地域資源の発見・資産化							
目的	対象(誰・何を)	1 市内個人所蔵の美術品・歴史資料			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	1 美術博物館資料として購入する				飯田下伊那地域の面積(平方キロメートル)			1929.19		
	向上させたい上位施策の成果指標	見いだされた地域資源の数(累計)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	購入対象とした美術品の数(点)				7	7				
	成果指標	購入対象とした歴史資料の数(件)				87	5				
	定性目標										
事業概要	市内のコレクターが収集・所蔵していた美術品ならびに歴史資料のうち、美術博物館の所蔵品にふさわしいものを購入する。購入対象は、美術品7点、歴史資料17件。それ以外の美術品・資料についても、貴重なものは寄託として受け入れる。										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 美術品・美術資料 原蓬山作品2点、鈴木芙蓉作品2点、近藤舩斎作品1点、書簡資料3点				1 購入美術品・美術資料			1 7点			
	2 郷土資料 飯田城主堀家関係文書・古筆手鑑、太宰春台画像、日夏耿之介「竹枝町巷談」原稿、田中芳男書簡 ほか				2 購入郷土資料			2 87点			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	6,810	6,810	0	[24特定財源](そ)財産収入					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他				5							
一般財源			6,810	6,805							
人件費計(千円)②		0		536							
正規職員所要時間				150							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	6,810	7,346	0						
事業内容・目標達成状況の振り返り	市内の美術品・郷土資料収集家の逝去に際し、重要な物件を購入することによって、飯田にとって重要な美術品・歴史資料の散逸を防ぐことができた。										
改革改善の考え方	①問題点	市内のコレクターが逝去し、飯田にとって貴重なコレクションが散逸する危機にある。									
	②改革提案	所蔵資料を整理・調査し、特に貴重な資料について購入し、当館の所蔵資料化を図る。									